

# 健康通信

## 気胸について



呼吸器外科部長医師

谷口 哲郎

### 気胸とは？

肺から空気がもれて、胸腔（きょうくう）にたまった状態をいいます。空気が漏れてたまったも、胸は肋骨があるために風船のように外側に膨らむことはできません。その代わり、肺が空気に押されて小さくなり、痛みや息苦しさなどの症状が出ます。

### 気胸の分類

#### ■自然気胸

10歳代後半から30歳代に多く、やせ型の男性に多く発生します。肺の一部に「ぶつ」と呼ばれる壁の薄

い風船様の部分ができ、これが破裂し穴が開くことが原因です。明らかに理由もなく発生することが多いのですが、多くの場合すぐに穴は閉じてしまい、漏れた空気は次第に吸収され消失します。しかし、穴がふさがらずに空気が漏れ続けたり、いったん治った後に再発を起すこともあります。

#### ■続発性気胸

肺気腫（はいきしゅ）、肺がん、肺線維症（はいせんいししょう）など、何か肺の病気があり、これが原因と

なっており発症する珍しい気胸を月経随伴性気胸といいます。これは子宮内膜の成分が肺や横隔膜にでき、生理のときに子宮内膜成分が剥がれ横隔膜や肺に穴が開くことが原因と考えられています。女性が気胸を起したときは、月経随伴性気胸の可能性を考えます。

### ■生理による気胸

生理の前後に発症する珍しい気胸を月経随伴性気胸といいます。これは子宮内膜の成分が肺や横隔膜にでき、生理のときに子宮内膜成分が剥がれ横隔膜や肺に穴が開くことが原因と考えられています。女性が気胸を起したときは、月経随伴性気胸の可能性を考えます。

### 気胸の治療

気胸の程度が極軽症で症状がなければ、安静にして穴がふさがるとを待ちます。気胸の程度が中等症や重度のときは、入院して胸に管を入れて、胸の中に漏れた空気を抜きます。管の先には特殊な器械をつけ、胸に管を入れたままにしておき、空気の漏れがなくなれば管を抜きます。以上の治療法は保存的治療ですが、治らない場合は手術を行います。

気胸に対しては胸腔鏡下手術を選

択することが多いのですが、病変が多発するときや広範なときは、開胸手術を行うこともあります。胸腔鏡下手術は、胸に2cmほどの切開を3か所行い、ここから照明付きカメラ（胸腔鏡）と肺を持つ道具、肺を切る道具を挿入し行います。肺の病変部を切除して、手術後の液体や空気を外に出すように胸腔ドレナージをして手術を終了します。

胸腔鏡下手術は開胸手術に比べて利点と欠点があります。利点は傷が小さく、美容的に優れていること、手術当初の痛みが開胸に比較して少ないことです。開胸に比べ気胸の再発率が高いことが、胸腔鏡下手術の始まった時期に問題になりましたが、当科では再発予防的に胸膜被覆術を加えております。欠点としては、出血などの緊急時の対処が遅れる可能性がありますが、気胸の手術ではほとんどありません。

